

このコーナーは市内のいろいろな出来事を紹介するコーナーです。皆さんの身近な出来事をお知らせください。

◆連絡先
安芸高田市 政策企画課
TEL 42-5612
〒731-0592
安芸高田市吉田町吉田791番地
E-mail info@akitakata.jp



あの興奮を再び！2014年度ひろしま神楽グランプリ受賞記念 神楽ドーム特別公演

旧舞の部、^{いばづ}筏津神楽団(北広島町)・新舞の部、横田神楽団(安芸高田市)。年末に行われた大会でグランプリに輝いた2神楽団の豪華共演が3月29日(日)、神楽ドームで行われました。

両神楽団ともファンの多い神楽団ということで、約千人の観客が集まりました。会場は祝勝ムードでどこかうれしそうなお客の皆さん。一方で、舞台上上がる両神楽団の舞は、いつもと変わらず、全力で演じ切るという気合いの入ったものでした。これには、観客も満足そうで、大きな拍手が起こっていました。



バラエティに富んだのものまねを披露 清水ミチコ ライブ

3月24日(火)、タレントの清水ミチコさんによるものまね&トークライブが、クリスタルアージュ大ホールで開催されました。

特徴をとらえた多彩なものまねや上質な音楽パロディを披露する度に、会場は大笑いに包まれます。また、迫力ある歌声や見事なピアノ演奏、今話題の時事ネタなども披露し、お客さんは割れんばかりの拍手を送っていました。清水ミチコさんの明るく軽快なトークも冴えわたり、会場のお客さんは、ライブ時間があっという間に感じられる楽しいひと時を過ごしました。



第13期から第14期へ交代 八千代の丘美術館 入館作家交代式

4月5日(日)、今年も八千代の丘美術館に新旧の作家たちが集い、入館作家交代式が行われました。

自画像指導などで昨年お世話になった作家さんに感謝状が贈呈された後、「道半ばの自分にとっても成長につながります」と誇らしく語られたのは新しい作家さん。今年も作品の展示やワークショップが楽しみです。

式後は、雨あがりの清々しい空気に包まれた中庭を回遊しながら、各棟でギャラリートークが行われました。参加者は作家による作品解説に熱心に聞き入り、芸術を満喫する一日となりました。



可憐な花が咲き誇る 向原かたくり祭り

向原町長田川之内にある「カタクリの里」で、見頃を迎えた頃に開催される「向原かたくり祭り」。今年は、4月4日(土)～4月12日(日)まで開催されました。

お祭りの期間中は、男手で作られたこだわりの「男味のうどん、そば」、手作りタレの山賊焼、セリの入った巻き寿司、地元のおみやげ品などを販売。カタクリは、発芽から開花までには7～8年かかりますが、開花期間が2週間程度と限られています。訪れたお客さんは、今しか見られないカタクリを、じっくりと観察されていました。



春の訪れと自然のすばらしさを感じる一日 第21回夢ふたたび江の川～鮭よかえってこい～

少しずつ暖かい春を感じはじめた3月8日(日)、今年も、夢をかなえようと鮭の稚魚放流が行われました。高宮町川根を流れる長瀬川に放たれた、数センチの稚魚は、そこから大河、江の川に出て、ゆっくりと日本海へと向かいます。幼児や小学生ら多くの人々の手で「大きくなって、いつか帰ってきてね」という願いを込めて稚魚は送り込まれました。

会場では、他にも川の大切さを学ぶ「水辺の学校」、紙芝居や神楽、バザーと楽しいイベントも数多く行われました。



谷に咲くミツマタの群落 カタクリ・ミツマタ祭り

4月上旬に、向原町坂寺山で開催される「カタクリ・ミツマタ祭り」。今年は4月5日(日)に行われました。

ミツマタが咲く虫居谷近くの会場では、ミツマタの鉢と苗や地元の新鮮野菜、この地域で捕まったイノシシ・シカを処理して調理されたジビエの串焼きなどが販売されました。谷一面に咲き誇るミツマタの群落と可憐に咲くカタクリの群生を、訪れた方は写真を撮ったりしながら愛でていました。



華麗な舞をホールで堪能 第8回三矢の里神楽共演大会

3月15日(日)、第8回目を迎える三矢の里神楽共演大会がクリスタルアージュ大ホールで開催されました。

県内外を問わず、この神楽大会を毎年楽しみにされている人も多く、今年は関東地方から来場したお客さんもおられたそうです。この大会は、当時安芸高田市内では美土里・高宮町でしか見る機会が少なかった神楽を、吉田・八千代・甲田・向原町、そして市外に住む皆さんにも見てもらいたいという思いではじめられました。

市内からは5団体、市外からは4団体が出演し、会場のお客さんは心ゆくまで神楽を楽しまれました。